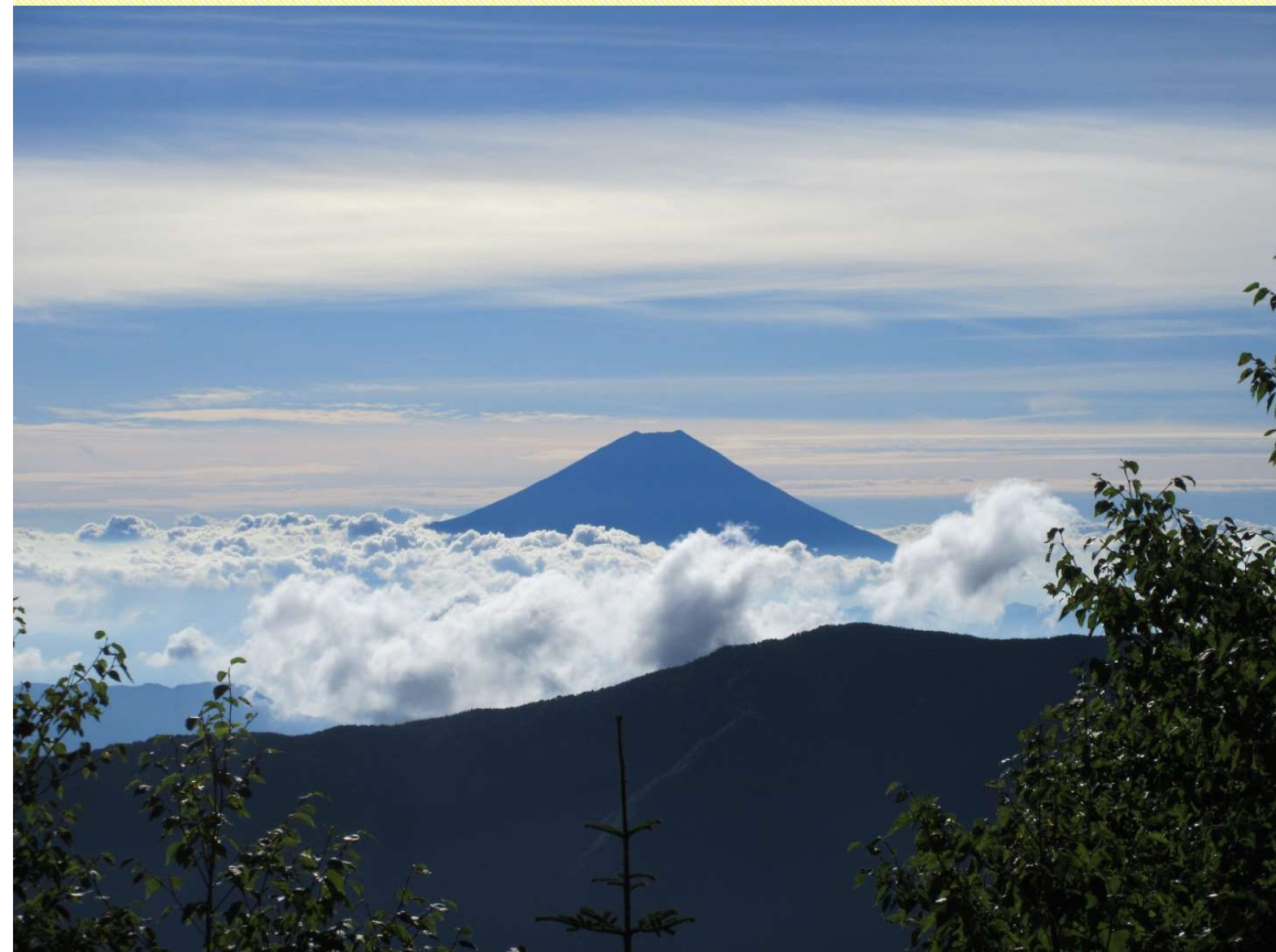


第5号 令和5年9月

みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



千枚小屋から富士山を望む

第5号発行

今年は（今年も？）異常とも感じられる暑さが続いています。南アルプスへ登っている間は暑さを忘れることができます。市街地に比べて涼しいことも、南アルプスの魅力のひとつと感じます。

さて、南アルプスを未来につなぐ会の会員数は、令和5年7月末現在、個人779名と30団体に御加入いただき、南アルプスを大切に思う人の輪が広がっていることを嬉しく思います。

本会報誌も、今回で5回目の発行となりました。今回のトピックは、南アルプス学会における研究助成の採択、高校生による南アルプス登山など今年度の主要な取組についてお伝えします。

南アルプス学会の研究助成で7件が採択！！

《南アルプス学会研究助成の第1回審査会が行われました》

南アルプス地域における自然、文化、民俗、歴史、社会、産業などの多様な領域を横断的に研究し、独自の地域学である「南アルプス学」の構築を目指す「南アルプス学会」では、南アルプス地域における研究費を助成する制度を創設しました。（詳しくは、第4号5ページを御覧ください。）

令和5年3月から募集を開始したところ、約6週間の募集期間に、自然科学、人文科学それぞれ多様な分野から28件の応募をいただきました。

「南アルプス学会」の事務局は、今年度から新たに「ふじのくに地球環境史ミュージアム」が担当しています。新たな体制で第1回目となる南アルプス学会運営委員会が令和5年6月1日に行われ、応募書類の審査が行われました。

審査の結果、7件の研究課題が採択されました。現在調査・研究が進められており、研究成果は南アルプス学会が主催するシンポジウムなどで発表していただくことを予定しています。

〈採択された7課題の概要〉

代表研究者	所属機関名	研究題目
赤穂雄磨	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	南アルプス地域におけるエスノスケープの保全に着目した冒険観光の可能性
東城幸治	信州大学 学術研究院理学系（生物科学）	南アルプス形成に関わる水生昆虫類の遺伝的分化・分子系統地理的研究
張曼青	京都大学フィールド科学教育研究センター	南アルプス農山村地域の生業変容を生きる女性たちの生活史研究－伝統焼畑農法と雑穀文化の維持に着目しながら－
外立ますみ	常葉大学 造形学部	井川地区の民具収集・研究プロジェクト
小山拓志	大分大学 教育学部	南アルプス高山帯における構造土の3次元地形モデルと形成過程
池ヶ谷のり子	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部会	県民参加型の南アルプス地域における菌類調査
米岡克啓	東京都立大学大学院、牧野標本館	南アルプス地域におけるシダ植物の見逃された種多様性の解明

高校生が南アルプスを登山して高山植物の生育環境を学習

～高山植物種子保存プロジェクトに取り組む高校生が千枚岳を登山～

南アルプスには、他の地域では見られない希少な高山植物が数多く生育しています。

しかし、シカの食害や気象の変化などの要因により自然環境下での減少や絶滅が危惧されることから、静岡県では、これらの植物を生息域外保全する「高山植物種子保存プロジェクト」を県内の高校と協力して実施しています。（詳しくは、創刊号3ページを御覧ください。）

令和5年9月2～3日に、プロジェクトの一環として、高校生の皆様に高山植物の生育環境を見て今後の取組に活かしてもらうため、南アルプスの登山企画を行いました。

今回は、アカイシリンドウの種子保存に取り組む田方農業高校の皆様が参加しました。



南アルプスについて勉強
「今までよく知らなかったなあ～」



高山帯を登山
「頑張って付いていくぞ！」

一連の行程を経ていく中で、最初は緊張していた高校生の皆様も笑顔になりました。当日は快晴で景色も良く、写真撮影も楽しんでいました。

参加した高校生はいずれも3年生で、来年4月には、進学や就職でそれぞれの道に旅立っていきます。

今回の登山企画は、高校時代の楽しい思い出のひとつとなったのではないのでしょうか。企画に協力していただいた高校の先生、講師、登山ガイドの皆様、ありがとうございました。

1日目は榎島ロッジに宿泊し、南アルプスの概要や水生微小生物について、（一財）南アルプスみらい財団と静岡大学の講師による講義を受けて勉強しました。

2日目は、千枚岳に登りました。生徒の中には、登山が初めてで不安という方もいましたが、皆元気よく登っていきました。

当日は、田方農業高校で種子保存に取り組んでいるアカイシリンドウに加え、サンプルリンドウ、オノエリンドウ、ヒメセンブリ、タカネビランジなどたくさんの高山植物を観察することができました。

下山中には駒鳥池に立ち寄り、池の中に生息する水生微小生物を観察しました。



「あっ！」高山植物を発見！

シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始めましたシリーズ『南アルプス探訪』。今回は南アルプスを生んだ付加体の形成過程について御紹介しました。

第4回目となる今回は『日本列島と南アルプスの形成』についてです。

テーマ：大井川上流域における地質と地形の成り立ち (第4回：日本列島と南アルプスの形成)

日本列島の骨格の形成
四万十帯の基板岩の形成

【2000万年前頃まで】

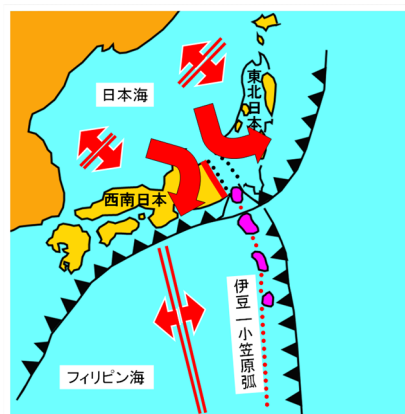


日本列島の骨格は、海洋プレートが沈み込む際に、アジア大陸の東の縁に付加された付加体です。

赤石山地の地質帯は四万十帯を主体とし、約1億年前から2000万年前頃に基盤岩となる付加体が形成されました。

日本海の拡大
西南日本、東北日本の回転

【1500万年前頃まで】



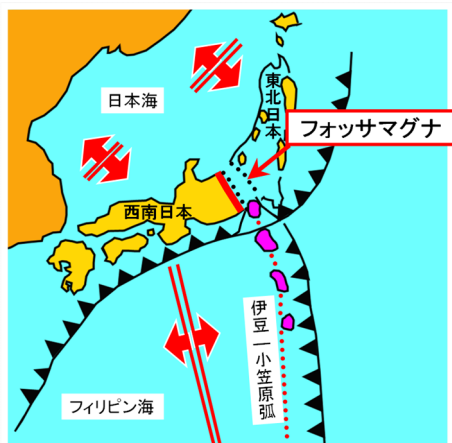
主に付加体で構成されたアジア大陸の東縁部が、2000万年前頃に裂け始め、大陸との間の縁に海が拡大してきました。

大陸との間の海がさらに拡大し、大陸から離れ、1500万年前頃に現在と同じくらいの大きさの日本海ができました。

この時、西南日本は時計まわりに回転し、東北日本は反時計まわりに回転しました。

フォッサマグナの形成

【1500万年前頃まで】

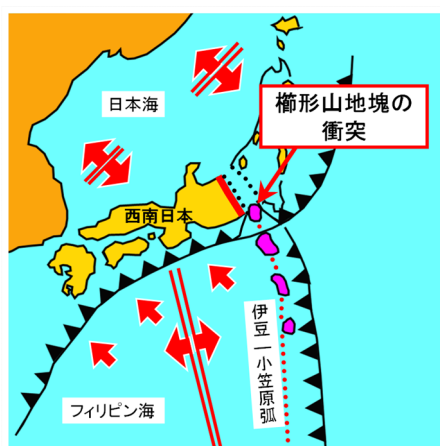


西日本と東日本の間が引っ張られて沈降し、大規模な大地の溝が形成され、海の地層が厚く堆積しました。

この過程で、大地の溝を意味する「フォッサマグナ」が形成されました。

伊豆-小笠原弧 楯形山地塊の衝突

【1500万年前頃まで】

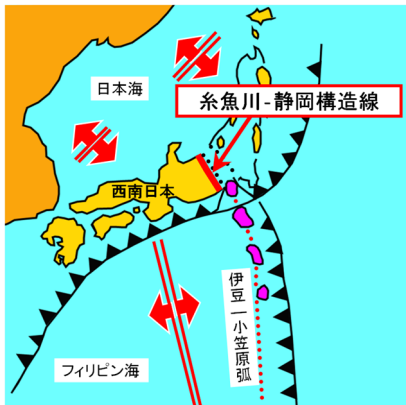


フィリピン海プレートの上には、本州弧の原型と直交する向きに海底火山が並んでいます。この海底火山の列を伊豆-小笠原弧と呼びます。

フィリピン海プレートは1500万年前以前に西南日本側に沈み込みを開始し、本州弧の原型に伊豆-小笠原弧の楯形山地塊が衝突しました。

シリーズ企画：南アルプス探訪

伊豆-小笠原弧 楯形山地塊の衝突 【1500万年前頃まで】



伊豆-小笠原弧の衝突によって、ももとの付加体の構造が大きく変化するとともに、糸魚川-静岡構造線等の巨大な断層が形成されました。

赤石山地周辺のプレートシステムの原型は1500万年前頃に造られました。

伊豆-小笠原弧の衝突 御坂地塊(900万年前) 丹沢地塊(600万年前) 【500万年前頃まで】



南部フォッサマグナ地域では、楯形山地塊の衝突・付加に続いて、900万年前頃に御坂地塊が衝突し、600万年前以降に丹沢地塊との衝突・付加が起こったとされています。

このように伊豆-小笠原弧の海底火山が次々と衝突し、日本列島の本州側では圧縮変形の著しい隆起帯が形成され、「伊豆衝突帯」と呼ばれています。

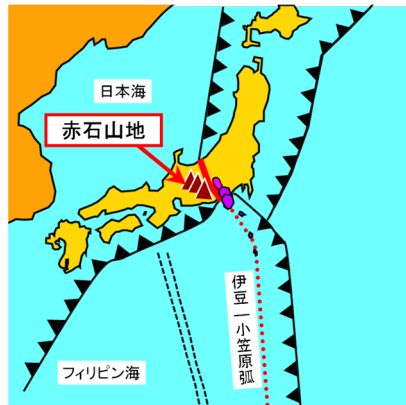
伊豆半島の衝突、駿河湾の形成 【100万年前から現在】



100万年前頃に伊豆半島が本州弧に衝突し、駿河湾と相模湾が形成されました。

次回は『南アルプスと駿河湾』についてお伝えする予定です。

赤石山地の激しい隆起 【100万年前から現在】



赤石山地は本州と伊豆半島が衝突する伊豆衝突帯に面しているため、現在も赤石山地を激しく押し上げ、隆起を続けています。

出典：南アルプス大井川上流域における地質と地形の成立ち (2020.12)

YouTubeやSNSで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」



○「南アルプスを守るお話」 (YouTube)

○南アルプスを未来につなぐ会 各種SNS



Instagram



Twitter



Facebook



編集後記に代えて

～はじめて南アルプスを登って～ 静岡県くらし・環境部自然保護課 野末尚希

はじめまして。今年4月から自然保護課に着任し、南アルプスに関する業務を担当している野末です。着任前には南アルプスには一度も登った経験がなく、自分に務まるのだろうか不安な気持ちでのスタートでした。

静岡市街地から榎島ロッヂまで初めて行ったときの感想は「こんなに遠いのか」という一言に尽きます。何度も行くうちに当初の感覚は徐々に薄れてきていますが、静岡側から南アルプスを訪れる方は、初めは誰もが遠さを感じるのではないのでしょうか。

南アルプスを初めて登山したのは7月下旬で、千枚岳に登頂し、そのまま丸山、悪沢岳、中岳を経由して荒川小屋に宿泊しました。行程中天気はずっと快晴で、素敵な景色が初めて登る不安を払拭してくれました。

登山道の脇には高山植物がちょうど咲き乱れている時期で、一緒に登山した職員から植物の名称を教えてもらいながら歩きました。高山植物を見ながら歩いていると、疲れをあまり感じませんでした。

さらに、ライチョウ（しかも、親子連れ）にも会うことができました。毎回会えるわけではない、という話を聞くと、ラッキーだったのだと思います。初めての南アルプスでは、良い思い出がたくさんできました。

これからは、広報誌の作成を通じて、読者の皆様へ南アルプスの魅力を伝えていきたいと思ひます。



悪沢岳山頂にて

南アルプス環境保全基金

美しい南アルプスを未来につないでいくため、みなさまの御支援・御協力をお願いします！

県外企業はこちら 【企業向けふるさと納税】

- ①静岡県公式ホームページのサイト内検索で、「地方創生応援税制」と検索
- ②サイト内の寄附申出書を所定の提出先へ提出

こちらから
簡単手続き！



県内企業はこちら 【一般寄附】

自然保護課まで
お問い合わせください。

個人の方はこちら 【ふるさと納税】

- ①インターネットサイト「ふるさとチョイス」の「自治体を探す」で静岡県を選択
- ②自治体一覧から静岡県庁ページを選択
- ③寄附金の使い道で「南アルプスユネスコエコパークの保全管理と魅力発信等」を選択

こちらから
簡単手続き！



方法は
3つ！

